２．事業の概要と成果	
（１）上位目標	イラクの小中学生が安全で衛生的な環境のもと、学習できるようになる。
（２）事業内容	本事業では、キルクーク県、ディヤラ県の小中学校において、（ア）衛生教育普及、（イ）学校衛生設備等の修復、（ウ）県教育局への学校設備モニタリング知識・技術の移転に取り組んでいる。 （ア） 衛生教育普及（18 校） 　当初は 1 月中旬より開始予定であったが、教育省より新学期の始まる 9 月以降に実施したい旨要請を受け、開始時期を 9 月に延期している。 　事前準備として、キルクーク県 6 校およびディヤラ県 6 校にて、事前調査を実施した。事業地変更に伴うキルクーク県での追加の 6 校については、現在選定を行っている。 　低学年児童に配布する衛生小冊子はより子どもたちが楽しんで衛生に関して学ぶことができるよう内容の変更を行っており、現在教育省からの承認待ちの状態である。衛生キットについては、教育省との協議を踏まえ、歯磨きカレンダー、石鹸、歯ブラシ、歯磨き粉、タオルを配布すべく、調達準備を行っている。 （イ） 学校衛生設備等の修復（3 校） 　非公開入札をへて、ディヤラ県の Al Adil 校、キルクーク県の Yadi Kizler 校の修復工事を実施中であり、進捗率はそれぞれ 60%および 30%となっている。 　Al Adil 校は県教育局からのサイト引き渡しに時間を要したものの、5 月末までに完工予定である。Yadi Kizler 校の工事は予定より早く進捗しており、同様に 5 月までに完工予定である。残り 1 校については、上記の通り現在選定中であり、6 月頃より建設を開始する見込みである。 （ウ） 県教育局への学校設備モニタリング知識・技術の移転 　モニタリング調査票につき各県教育局より承認を取得し、当団体エンジニアおよび県教育局エンジニアとの共同モニタリングを開始している。キルクーク県およびディヤラ県の 12 校での一回目のモニタリングが終了しており、二回目は 6 月頃より開始する予定である。
（３）達成された効果	（ア） 衛生教育普及（18 校） 　衛生教育は開始していないため、「期待される効果」は現時点では達成されていない。 （イ） 学校衛生設備等の修復（3 校） 　上記同様、修復工事が完了していないため、「期待される効果」は現時点では達成されていない。 （ウ） 県教育局への学校設備モニタリング知識・技術の移転 　モニタリングに際しては、当団体エンジニアと県教育局エンジニアが一つ一つの項目を確認しながら、ともに調査票への記載を行うことで、モニタリングの際の注意点を共有しながら実施している。

	こうした取り組みにより、当該活動の効果として「モニタリングに対する県教育局の意識の向上」がみられつつある。具体的には、当団体が作成した調査票について、モニタリングの過程で、県教育局側から新しい項目の追加が提案されたり、また調査結果の使用方法につき県教育内で検討を開始するなど、県教育局内部の変化がみられる。
（４）今後の見通し	アンバール県での活動中止に伴うキルクーク県での対象校の選定は、現在教育省・県教育局と調整中であり、5 月末までには確定する見通しである。6 月には建設工事を開始し、事業期間内に完了する予定である。